

一般社団法人 協力隊を育てる会

## 第 44 回通常総会

### 【報告書】

- 1) 2018 年度事業報告
- 2) 2019 年度事業計画
- 3) 2019 年度収支予算
- 4) 組織名称変更の検討

### 【議案書】

第 1 号議案：2018 年度決算承認の件  
公益目的支出計画実施報告書  
監事監査報告書

2019 年 5 月 30 日（木） 於 日本青年館





# 目 次

## 【報告書】

2018 年度役員、顧問・参与一覧	P4
2018 年度事業報告	P5
2019 年度事業計画	P29
2019 年度収支予算	P39
組織名称変更の検討	P41

## 【議案書】

第 1 号議案：2018 年度収支決算承認の件	P43
公益目的支出計画実施報告書	P49
監事監査報告書	P51

注 1：本冊子記載の所属・役職名等は実施当時のものであり、敬称略としております。

注 2：本冊子記載の青年海外協力隊をはじめとする JICA 海外協力隊情報（帰国隊員を含む）は【氏名／派遣国／職種／隊次（西暦●●●●年度●次隊）】の順で表記しています。

注 3：本冊子では青年海外協力隊をはじめとする JICA 海外協力隊を【協力隊】と、また全国育てる会ならびに関係団体の名称を一部略して記載しております。

＜2018 年度役員および顧問・参与一覧＞

1	会長	山本 保博	医療法人伯鳳会東京曳舟病院院長
2	副会長	山本 信也	一般財団法人日本青年館常務理事
3	副会長	水野 秀一	公益社団法人日本青年会議所事務局アドバイザー
4	常任理事	松岡 和久	公益財団法人 CIESF 副理事長
5	常任理事	奥永眞智子	前一般社団法人協力隊を育てる会事務局長
6	理事	明石 要一	千葉大学名誉教授、千葉敬愛短期大学学長
7	理事	岩田 公雄	ジャーナリスト、学習院大学特別客員教授
8	理事	神崎 清一	公益財団法人日本 YMCA 同盟総主事・代表理事
9	理事	澤田 澄子	公益社団法人企業メセナ協議会常務理事兼事務局長
10	理事	重 政子	NPO 法人持続可能な開発のための教育推進会議代表理事
11	理事	杉下 恒夫	一般財団法人国際開発機構理事長
12	理事	土井 章	一般社団法人日本防災プラットフォーム常務理事兼事務局長
13	理事	烏澤 文彦	日本青年団協議会事務局長
14	理事	山根木晴久	日本労働組合総連合会総合組織局総合局長
15	監事	福龍 健一	千葉県海外協力隊を育てる会理事
16	監事	中村 義人	公認会計士、放送大学客員教授

1	顧問	足立 房夫	公益財団法人国際障害者年記念ナイスハート基金顧問
2	顧問	大島 賢三	一般社団法人アフリカ協会理事長
3	顧問	黒河内 康	元タンザニア、ナイジェリア、スイス大使
4	顧問	宮崎 幸雄	元公益財団法人ロータリー米山記念奨学会専務理事
5	参与	伊藤 隆文	元独立行政法人国際協力機構青年海外協力隊事務局長
6	参与	井上 俊吾	徳島県協力隊を育てる会会長
7	参与	大久保純夫	元一般社団法人協力隊を育てる会事務局長
8	参与	大貫 康雄	公益社団法人自由報道協会代表理事
9	参与	小川 一成	茨城県青年海外協力隊を育てる会会長、茨城県議会議員
10	参与	小原 嘉文	佐賀県協力隊を育てる会会長
11	参与	坂本 瑞夫	愛知県青年海外協力隊を支援する会会長
12	参与	高橋 成雄	NPO 法人地球緑化センター顧問
13	参与	谷川与志雄	元独立行政法人国際協力機構青年海外協力隊事務局次長
14	参与	吹浦 忠正	NPO 法人ユーラシア 21 研究所理事長
15	参与	森高 康行	愛媛県青年海外協力隊を育てる会理事、愛媛県議会議員
16	参与	横尾賢一郎	公益財団法人ラグビーワールドカップ 2019 組織委員会 上席執行役

# 2018 年度事業報告

(2018 年 4 月 1 日から 2019 年 3 月 31 日まで)

「平成」という一つの時代が終わりを迎える中、青年海外協力隊をはじめとする JICA ボランティア事業（以下、協力隊事業）を取り巻く環境は大きく変わり、「協力隊の応援団」たる当会も難しい舵取りを求められた 1 年となりました。様々な課題を抱えながらも、全国育てる会をはじめ会員ならびに支援者の皆様のお力添えにより、「協力隊の応援団＝全国育てる会」への期待にお応えすべく諸活動を推進して参りましたので、ここにご報告申し上げます。

## 1 協力隊事業の制度改革への対応

行政事業レビューに伴う協力隊事業の制度改革に対しては、<①事業の理念を正しく継承し社会に定着させること、②人材育成の場としての理念が失われないこと、③協力隊に参加しやすい環境をつくること>の 3 点を全国 47 都道府県 2 市の応援団の声として、役員や全国育てる会のネットワークを通じて政府に要望書を提出しました。JICA や公益社団法人青年海外協力協会による働きかけもあり一定の成果が得られたものの、協力隊事業が大きく変革する過程において情報の収集・分析・検討・対応という点では、全国育てる会に対する共有と意見交換も含めて課題を残しました。

## 2 育てる会の在り方を議論

協力隊事業の制度改革に伴い、全国規模での「課題と情報の共有」を目的とした代表者会議を 1 年ぶりに東京にて開催。緊縮財政の折、全国育てる会の皆様には諸経費などをご負担いただかざるを得ませんでしたが、多くの組織より参加いただき、活発な意見交換を行うことができました。半世紀以上の歴史を持つ協力隊事業が変革を迎えた今、「育てる会活動」の機能や役割にも変容が迫られており、新しい時代に求められる在り方を検討し実践していくことが急務であることを確認しました。

## 3 公示案件の受託

当会の主要財源である JICA の受託事業「帰国隊員事務手続き業務・現職参加促進業務」「クロスロード編集・発行業務」については、3 年ぶりの競争入札となりましたが、いずれも落札することが出来ました。しかしながら、協力隊事業の制度改革は「業務の効率的実施」という点で様々な見直しにも及び、「クロスロード編集・発行業務」においては発行回数や印刷部数の減少により契約額全体が縮小、2018 年度決算にその影響が色濃く出る結果となりました。

## 4 事務局の移転

2019 年 2 月をもって、当会事務局は東京都千代田区神田に移転いたしました。1976 年の発足時は青年海外協力隊事務局内（渋谷区広尾）に設置され、1979 年には日本青年館内（新宿区霞ヶ丘）に移転、以後 30 年間にわたり青年運動の本拠地にて活動して参りました。2006 年には、JICA 地球ひろばと名称変更されていた広尾に再び移転。しかしながら事業仕分けに伴い、2012 年には JICA 本部（千代田区麴町）に近い、防衛省前（東京都新宿区市ヶ谷）に拠点を移しました。この度、2020 年のオリンピック・パラリンピック開催に伴う土地整備計画により、社団発足 43 年目を迎えて 4 度目の事務局移転となりました。

「平成」という 30 年の間で、協力隊事業が大きく発展し飛躍を遂げるとともに、当会も「協力隊の応援団」として全国的な基盤を確立するに至りました。新しい「令和」という時代においても、自ら進んで世界の課題に挑戦する若者を支援するために全国育てる会とともに邁進していく所存でございますので、会員ならびに支援者の皆様におかれましては、倍旧のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 協力隊を育てる会の使命

青年海外協力隊をはじめとする国際ボランティア（以下「協力隊等」という。）事業に市民の立場から参加しやすい社会環境を創り、次世代を担う人材の創出及び育成を図るとともに、協力隊等が得た経験を共有することで多様な価値観を尊重する平和で豊かな社会を築き、国際社会と地域社会の発展に寄与する。

## 重点活動

応募促進と  
派遣中支援の  
充実化

各種団体  
との連携

体験発表機会  
の創出

社会貢献事例  
の収集と分析

教員参加と  
帰国後採用  
の推進

財政基盤  
の安定化

### 理解促進事業

各種イベントの  
開催

「視察の旅」、スタ  
ディツアー企画

カレンダーの  
制作・販売

カタログギフトの  
販売

帰国隊員の  
進路支援

他団体との連携

### 助成事業

小さなハート  
プロジェクト

帰国隊員/青年  
支援プロジェクト

馬場医療・福祉  
奨学金

地域の育てる会  
活動助成

### 広報事業

育てる会ニュース  
の編集発行

web・SNSによる  
情報発信

### 受託事業

「クロスロード」  
編集・発行業務

帰国後事務手続き  
現職参加促進業務

協力隊支援・次世  
代育成関連業務

### 総務活動

各種会議・交流会  
等の開催

事務局移転準備

派遣隊員向け  
ガイダンス等

# 2018 年度事業報告

## 【重点事業】

### 1. 応募促進と派遣中支援の充実化

---

#### 1) 協力隊事業の制度改革に伴う政府はじめ関係機関への要望書提出

##### (1) 額賀福志郎衆議院議員 (JICA 議連会長・茨城 2 区)

日 時 : 7 月 10 日 (火) 15 : 00 ~

場 所 : 衆議院会館

参 加 : 山本会長、小川参与 (茨城県青年海外協力隊を育てる会会長)、大石事務局長

##### (2) 北岡伸一 JICA 理事長

日 時 : 7 月 27 日 (金) 18 : 00 ~

場 所 : JICA 本部

参 加 : 山本会長、山本副会長、大石事務局長

##### (3) 三原朝彦衆議院議員 (JICA 議連幹事長・福岡 9 区)

日 時 : 8 月 1 日 (水) 13 : 30 ~

場 所 : 衆議院会館

参 加 : 大石事務局長

##### (4) 岸田文雄衆議院議員 (元外務大臣・政務調査会長・広島 1 区)

日 時 : 8 月 27 日 (月) 16 : 00 ~

場 所 : 自民党本部

参 加 : 山本会長、大石事務局長

#### 2) 全国育てる会との連携

##### (1) 協力隊事業の制度改革に関する情報提供

実 施 : 文書及びメールにて適宜

内 容 : 制度変更の概要等

時 期 : 4 月 ~ 8 月

##### (2) 全国育てる会記念式典及びイベント等への参加

###### ① 広島県青年海外協力隊を育てる会創立 30 周年記念フォーラム

日 時 : 6 月 16 日 (土) 15 : 00 ~

場 所 : リーガロイヤルホテル広島

参 加 : 山本会長、岩田理事

備 考 : 岩田理事による講演あり

###### ② 茨城県青年海外協力隊を育てる会設立 20 周年記念式典

日 時 : 7 月 22 日 (日) 13 : 30 ~

場 所 : JICA 筑波国際センター

参 加 : 山本会長、大石事務局長

備 考 : JICA 副理事長・越川和彦氏による講演あり

③宮城県青年海外協力隊を支援する会 30 周年記念式典

日 時 : 11 月 10 日 (土) 15 : 00~

場 所 : JICA 東北国際センター

参 加 : 松岡常任理事

備 考 : JICA 二本松青年海外協力隊訓練所所長・洲崎毅浩氏による講演あり

④青年海外協力隊とちぎ応援団設立 15 周年記念式典

日 時 : 11 月 17 日 (土) 16 : 00~

場 所 : コンセーレ (栃木県青年館)

参 加 : 水野副会長、伊藤事務局次長

備 考 : 株式会社下野新聞社代表取締役社長・岸本卓也氏による講演あり

(3) 全国育てる会総会及び会議等への出席

	組織名	開催内容	開催日	出席者
1	協力隊を支援する やまがた地球家族の会	総会・帰国報告会	5 月 26 日 (土)	伊藤次長
2	日本も元気にする 青年海外協力隊 OB 会	総会・活動報告会	5 月 26 日 (土)	滝澤編集長
3	JICA ボランティアを支援する いわての会	総会・帰国報告会	6 月 2 日 (土)	山本副会長
4	千葉県 海外協力隊を育てる会	総会・帰国報告会	6 月 2 日 (土)	奥永常任理事
5	京都府 JICA ボランティア応援団	総会	6 月 6 日 (水)	足立顧問
6	一般社団法人 青年海外協力隊プラザ・大阪	総会・帰国報告会	6 月 8 日 (金)	足立顧問
7	宮城県 青年海外協力隊を支援する会	総会・帰国報告会	6 月 9 日 (土)	松岡常任理事
8	わかやま JICA ボランティア応援団	総会・参与会・講演会	6 月 13 日 (水)	土井理事 ※講演あり
9	青年海外協力隊 神奈川県 OB 会	総会・講演会	6 月 16 日 (土)	奥永常任理事
10	長野県 JICA ボランティア家族連絡会	説明会・帰国報告会	6 月 17 日 (日)	奥永常任理事
11	青年海外協力隊 東京 OB 会	総会・講演会	6 月 17 日 (日)	大石事務局長
12	福島県 青年海外協力隊を支援する会	総会・帰国報告会	6 月 19 日 (火)	松岡常任理事

	組織名	開催内容	開催日	出席者
13	愛知県 青年海外協力隊を支援する会	総会・帰国報告会	6月23日 (土)	伊藤次長
14	三重県 協力隊を育てる会	総会	6月29日 (金)	伊藤次長
15	北陸ブロック 連絡会議	北陸3組織による意見 交換会	9月1日 (土)	大石事務局長
16	東京都 JICA ボランティア家族連絡会	説明会・帰国報告会	10月27日 (土)	伊藤次長
17	埼玉 国際青年を育てる会	壮行会	12月18日 (火)	大石事務局長
18	わかやま JICA ボランティア応援団	懇談会	3月21日 (木)	足立顧問 伊藤次長
19	奈良 JICA ボランティア応援団	懇談会	3月22日 (金)	足立顧問 伊藤次長
20	埼玉 国際青年を育てる会	壮行会	3月22日 (金)	大石事務局長

#### (4) 全国代表者会議の開催

主催：一般社団法人協力隊を育てる会

日時：2019年2月2日(土) 11:00~15:30

場所：日本青年館8階「イエロー」

参加：全国育てる会30組織34名、JICA 青年海外協力隊事務局2名、社団役職員16名  
計52名

概要：第1部 JICA 青年海外協力隊事務局長・山本美香氏による講話  
「青年海外協力隊のこれから」

第2部 意見交換会

- ・協力隊参加者を増やすために応援団としてできること
- ・各組織の好事例紹介
- ・その他

#### 3) 派遣中支援

実施：主に小さなハートプロジェクトにて実施

#### 4) 派遣中隊員に対する支援情報等の共有

実施：随時

媒体：訓練所オリエンテーション、SNS、育てる会ニュース等

## 2. 各種団体との連携

---

### 1) 各種イベント等への参加

#### (1) 協力隊まつり 2018

主 催 : 協力隊まつり実行員会  
日 時 : 4月21日(土)～22日(日) 10:00～17:00  
場 所 : JICA 市ヶ谷ビル  
概 要 : 帰国隊員が生産する雑貨、書籍の販売  
備 考 : 社団の参加は22日(日)のみ  
参 加 : 内島職員、熊野職員、藤澤職員

#### (2) 第89回メーデー中央大会

主 催 : 第89回メーデー中央実行委員会  
実 施 : 4月28日(土) 10:00～14:30  
概 要 : 帰国隊員が生産する雑貨、書籍の販売  
場 所 : 代々木公園  
参 加 : 大石事務局長、内島職員

#### (3) グローバルフェスタ 2018

主 催 : グローバルフェスタ実行委員会  
実 施 : 9月29日(土) 10:00～17:00 ※30日(日)は台風の影響により中止  
概 要 : カレンダー、OBOG ショップ「青い空の会」が生産する雑貨等の販売  
場 所 : お台場センタープロムナード  
参 加 : 熊野職員、藤澤職員、「青い空の会」スタッフ

#### (4) SEISA Asia Africa Bridge

主 催 : 公益財団法人世界こども財団  
実 施 : 11月10日(土)～11日(日)  
概 要 : カレンダー、帰国隊員が生産する雑貨等の販売  
場 所 : 星槎中学高等学校  
参 加 : 松岡常任理事、奥永常任理事ほか

### 2) 企業団体向けのセミナー

#### (1) サマーコンファレンス 2018

主 催 : 公益社団法人日本青年会議所  
日 時 : 7月21日(土)～22日(日)  
場 所 : パシフィコ横浜  
概 要 : 民間連携ボランティア等の制度説明及び協力隊事業広報のブース出展

#### (2) JICA 中小企業海外展開支援事業に関する説明会

主 催 : 協力隊を支援するやまがた地球家族の会  
日 時 : 11月15日(木) 14:00～17:00

場 所 : ほほみの宿滝の湯 (山形県天童市)

概 要 : JICA 民間連携事業の説明と制度活用事例の紹介、意見交換会

備 考 : 青年海外協力隊事務局による制度変更に関する説明あり

(3) 2019 年度京都会議

主 催 : 公益社団法人日本青年会議所

日 時 : 2019 年 1 月 18 日 (金) ~20 日 (日)

場 所 : 国立京都国際会館

概 要 : 民間連携ボランティア等の制度説明及び協力隊事業広報のブース出展

(4) BNI Japan 滋賀

主 催 : BNI Japan 滋賀 イナズマチャプター

日 時 : 2019 年 3 月 5 日 (水) 07:00~

場 所 : 琵琶湖ホテル

概 要 : JICA 海外協力隊事業の説明

(5) 2019 世界女性連合例会「グローバル人材の育成～若者の異文化体験～」

主 催 : 世界女性連合 (WFWP)

日 時 : 2019 年 3 月 16 日 (土) 13:30~

場 所 : 戸塚地域センター

概 要 : JICA 海外協力隊事業の説明および帰国隊員報告

(6) 瀬戸商工会議所

主 催 : 瀬戸商工会議所

日 時 : 2019 年 3 月 29 日 (金) 14:00~

場 所 : 瀬戸商工会議所

概 要 : JICA 海外協力隊事業の説明

### 3. 体験発表機会の創出 (報告会の開催)

---

1) 各団体への働きかけ

(1) 各定例会等における帰国隊員の活動報告会

①主 催 : 都内ライオンズクラブメンバー

日 時 : 5 月 21 日 (月) 18:30~

場 所 : 主婦会館

概 要 : 3D プリンタにて義足制作を行う帰国隊員の活動紹介

講 師 : 徳島泰氏 (インスタリム株式会社取締役、フィリピン/デザイン/2012-1)

②主 催 : 世界女性連合 (WFWP)

日 時 : 2019 年 3 月 16 日 (土) 13:30~

場 所 : 戸塚地域センター

概 要 : モロッコにおける青少年活動について

講 師 : 藤澤職員 (モロッコ/青少年活動/2010-3)

## 2) 自主企画

### (1) 通常総会講演会

日 時 : 5月30日(水) 16:00~18:00

場 所 : 日本青年館

概 要 : 帰国隊員による社会還元を紹介

講 師 : 白石光代氏(青い空の会代表、グアテマラ/花卉栽培/1999-1)、  
佐藤千歳氏(岡崎市保健所職員、モザンビーク/臨床検査技師/2005-1)

### (2) 会員・家族交流会「JICA 海外協力隊 FUN FAN 交流会」

①日 時 : 6月24日(日) 10:00~12:30

場 所 : JICA 市ヶ谷ビル

講 師 : 岡部恵子氏(進路相談カウンセラー、タンザニア/秘書/1981-3)

②日 時 : 10月20日(土) 10:00~13:00

場 所 : JICA 市ヶ谷ビル

講 師 : 淡島聡史氏(パプアニューギニア/コミュニティ開発/2014-3)

③日 時 : 2019年3月30日(土) 10:00~13:00

場 所 : JICA 市ヶ谷ビル

講 師 : 土井章理事(サモア/土木施工/1980-4)、金森由香(グアテマラ隊員母)

### (3) 大学での講義

①日 時 : 10月25日(木) 14:45~16:15

対 象 : 早稲田大学教育学部 70名

概 要 : 「生涯学習論」多文化教育と自身のキャリアについて

講 師 : 金山光一氏(進路相談カウンセラー/教育分野担当)  
東郷職員(ガーナ/PCインストラクター/2015-4)、藤澤職員

②日 時 : 11月15日(木) 16:30~18:00

対 象 : 早稲田大学教育学部 140名

概 要 : 「特別活動論」ボランティアとは

講 師 : 金山光一氏、東郷職員、藤澤職員

③日 時 : 11月21日(水) 14:40~16:10

対 象 : 大妻女子大学文学部 90名

概 要 : 「民族文化論」異文化理解で大切なこと

講 師 : 金山光一氏  
内島職員(ドミニカ共和国/日系日本語学校教師/2011-0)、藤澤職員

## 3) 全国育てる会主催による開催支援

実 施 : 通年

場 所 : 全国が対象

概 要 : 開催団体や帰国隊員の紹介及び広報協力

## 4. 社会貢献事例の収集と分析

---

- 1) 「日本も元気にする青年海外協力隊 OB 会」や育てる会等による関連行事等への参加と情報収集  
実施 : 通年  
場所 : 全国が対象  
備考 : 「日本も元気にする青年海外協力隊 OB 会」会員の活動を「協力隊を育てる会ニュース」408号(8月発行号)より連載中
  
- 2) 「日本も元気にする青年海外協力隊」事例集の作成  
実施 : 11月から2019年3月まで18件  
対象 : 神奈川・山梨・愛知・静岡・岐阜・三重・石川・福井・富山・愛媛・香川・高知・徳島に所在の帰国隊員  
概要 : A4両面/2,000字/四色刷  
備考 : 受託事業の一環として実施
  
- 3) クロスロード編集室による調査・研究および分析活動への協力  
実施 : 通年

## 5. 教員参加と帰国後採用の促進

---

- 1) 全国育てる会やOB会等による関連行事への参加と情報収集  
実施 : 通年  
場所 : 全国が対象  
概要 : 参加希望者やOBOGのニーズや課題の把握と支援策の検討
  
- 2) 帰国隊員や教育分野の有識者・関係者との意見交換と情報の共有
  - (1) 独立行政法人国立青少年教育振興機構青少年教育研究センターによる調査への協力  
概要 : 青年海外協力隊帰国者の意識等に関する調査研究  
実施 : 独立行政法人国立青少年教育振興機構青少年教育研究センター、独立行政法人国際協力機構青年海外協力隊事務局、一般社団法人協力隊を育てる会  
結果 : 4,763名(1995年~2014年派遣の約14,500人に送付)よりアンケート回収→集計結果の分析作業を開始
  
- 3) 各教育委員会、関係団体に対する参加促進および帰国後採用の協力要請  
実施 : 通年  
結果① : とちぎ応援団の働きかけにより、県公立学校教員試験(国際貢献活動経験者枠)に協力隊経験者の優遇措置が導入→2019年度採用に2名の帰国隊員が合格  
結果② : 愛媛県育てる会の働きかけにより、県公立学校教員試験における協力隊経験者への加点数が導入当初と同じく100点に復活

## 6. 財政基盤の安定化

---

### 1) 受託業務の応札

帰国隊員支援や協力隊事業の理解促進、次世代の協力隊育成に繋がる業務等、育てる会の専門性と独自性を活かせる業務を受託した。

#### (1) 2018～2019 年度 JICA ボランティア帰国情報／事務管理・現職参加促進支援業務

公 示 : 5月18日(金)

入 札 : 6月19日(火)

結 果 : 落札

契約期間 : 2018年7月1日～2020年3月31日

契約金額 : 58,999,320円

備 考 : 進路相談カウンセラー業務が追加→カウンセラー4名に業務委託

#### (2) 2018～2021 年度 JICA ボランティアに対する情報支援ツール「クロスロード」編集・発行及び WEB 対応業務

公 示 : 7月13日(金)

入 札 : 8月23日(木)

結 果 : 落札

契約期間 : 2018年9月7日～2021年8月31日

契約金額 : 153,487,440円

備 考 : 隊員向けには冊子印刷せず web にて提供

#### (3) 平成 30 年度「環境ユース海外派遣研修」の企画・運営業務

公 示 : 7月31日(火)

入 札 : 9月27日(木)

結 果 : 失注

#### (4) 受託業務の一部拡大

##### ①業務名称 : 社会還元の好事例収集発信業務

業務内容 : 帰国隊員による社会貢献事例の紹介パンフレットの作成

契約拡大 : 年6件→年10件

備 考 : ポケットフォルダ制作を含む

##### ②業務名称 : 日本も元気にする JICA 海外協力隊・神奈川&山梨編

業務内容 : 帰国隊員による社会貢献事例の紹介パンフレットの作成

契約追加 : 当初計画なし→年5件

備 考 : JICA 横浜からの委託業務

### 2) 会員拡大

協力隊事業の理解促進とともに育てる会活動の輪を更に広げるため、会員勧誘を行った。

#### (1) 企業・団体訪問

##### ①パラマウントベット株式会社

日 時 : 7月10日(月)  
 参 加 : 山本会長・大石事務局長  
 概 要 : 法人会員入会の依頼→法人会員入会(4口)

②日本光電株式会社

日 時 : 7月19日(木)  
 参 加 : 山本会長・大石事務局長  
 概 要 : 法人会員入会の依頼→法人会員入会(1口)

③フクダ電子株式会社

日 時 : 9月20日(木)  
 参 加 : 山本会長・大石事務局長  
 概 要 : 法人会員入会の依頼→法人会員入会(4口)

会員種別		2018年度	
社団	個人	397	(入会数 37)
	団体	99	(入会数 0)
	法人	29	(入会数 3)
	計	525	(入会数 40)
全国	個人/団体/法人	3,143	

**【理解促進事業】**

1) 各種イベントの開催

国際理解や人材育成、経験の社会還元等、協力隊事業を広く市民に周知する場として、帰国隊員の活動報告会をはじめとするイベントを開催した。

(1) 家族交流会

実 施 : 重点事業【3. 体験発表機会の創出(報告会の開催)】参照

(2) 帰国報告会

実 施 : 重点事業【3. 体験発表機会の創出(報告会の開催)】参照

(3) 開発教育全国集会

実 施 : 今年度は特になし

2) 「視察の旅」の企画・実施

隊員家族や関係者等を中心に、現地の活動視察を通じて協力隊事業の理解者を増やすとともに、支援の輪を広げる機会として企画・実施した。

企 画 : アジア 3ヶ国・アフリカ 18ヶ国・中南米 11ヶ国 合計 32ヶ国

実 施 : 8月~2019年3月

参 加 : 13ヶ国 84名

	地域	国	期間	参加者数
1	アジア	ネパール	11月12日(月)～11月21日(水)	8名
2	アフリカ	モザンビーク	9月5日(水)～9月14日(金)	4名
3		ルワンダ	9月5日(水)～9月14日(金)	8名
4		タンザニア	10月3日(水)～10月12日(金)	5名
5		エチオピア	10月3日(水)～10月12日(金)	1名
6		マラウイ	10月31日(水)～11月9日(金)	10名
7		ケニア	10月31日(水)～11月9日(金)	6名
8		ガーナ	11月4日(日)～11月12日(月)	5名
9		ザンビア	12月2日(日)～12月12日(水)	10名
10		ベナン	2019年1月20日(日)～1月27日(日)	10名
11		カメルーン	2019年2月24日(日)～3月3日(日)	5名
12	中南米	ボリビア	9月6日(木)～9月15日(土)	5名
13		パラグアイ	11月7日(水)～11月16日(金)	7名

### 3) スタディツアーの企画・実施協力

現地の活動視察を通じて協力隊事業の理解者を増やすとともに、支援の輪を広げる機会として企画・実施の協力を行った。

#### (1) 共催企画

共催：愛知県青年海外協力隊を支援する会／一般社団法人協力隊を育てる会

実施：2019年2月21日(木)～2月27日(水)

場所：ミャンマー

参加：愛知県支援する会・山口県協力隊を育てる会・(一社)協力隊を育てる会の役員、会員、支援者等 19名

概要：隊員活動視察(2地域)及び激励会開催、JICAプロジェクト視察、日本大使館、JICA現地事務所への訪問

備考：愛知県支援する会40周年記念事業として実施

#### (2) 全国育てる会企画への広報協力

①三重県協力隊を育てる会(8月24日～27日：ミャンマー)

②一般社団法人青年海外協力隊プラザ・大阪(11月25日～12月1日：ミャンマー)

### 4) 「持続する情熱」等、協力隊関連書籍の拡販

記念誌「持続する情熱」をはじめ協力隊に関する書籍の普及を目指し、支援者を発掘し教育機関や図書館等への寄贈活動を展開した。

(1) 「持続する情熱」 (ダイジェスト版)

体 裁 : A4 判 / 180 ページ / フルカラー

販売数 : 80 冊

寄贈数 : 0 冊

残 数 : 209 冊

(2) 「持続する情熱」 (完全保存版)

体 裁 : A4 判 / 416 ページ / フルカラー

販売数 : 28 冊

寄贈数 : 6 冊

残 数 : 270 冊

(3) 「持続する情熱」 (英語版)

体 裁 : A4 判 / 128 ページ / フルカラー

販売数 : 20 冊

寄贈数 : 5 冊

残 数 : 4 冊

(4) 「青年海外協力隊の軌跡と展望～世界を翔ける日本青年の素顔～」

体 裁 : 新書判 / 232 ページ / モノクロ

販売数 : 77 冊

寄贈数 : 0 冊

残 数 : 98 冊

5) 育てる会カレンダーの制作・販売

派遣中隊員及び帰国隊員から提供される写真を使用し、途上国や協力隊事業の理解促進、全国の育てる会活動の広報ツール、企業の SDGs ツールとして制作・販売した。

テーマ : 「WA!」 JICA 海外協力隊と SDGs

仕 様 : A4 横 / フルカラー / 14 枚綴り (28P) / オリジナル名入れ・メッセージ印字

価 格 : 価 格 : 1 部 1,000 円 (税込 / 会員 700 円 / 3 部以上購入の場合 1 部 500 円)

制 作 : 13,000 部 (昨年 12,200 部)

売 上 : 11,960 部 (昨年 11,929 部)

[一般定型 1,095(昨年 930) / 一般名入れ 5,484(昨年 5,257) / 各県名入れ 5,381(昨年 5,742)]

6) カタログギフト「GLOBAL SPROUT」の販売

OBOG が関わる商品の情報をまとめ、Web 等の広報媒体にて紹介するとともにカタログギフトとして販売した。

ブランド : 「GLOBAL SPROUT」 (グローバルスプラウト)

概 要 : 帰国隊員が生産する食品・雑貨・化粧品等のカタログギフト販売

売 上 : 790,916 円

(スプラウトコース 116 個@3,780 円/リーフコース 51 個@5,940 円他)

## 7) 帰国隊員の進路支援

就職や転職、進学、結婚等、帰国隊員の様々なニーズに対して、彼らの経験や持ち味が活かせる人生プランをアドバイスするとともに進路開拓の支援を行った。

### (1) 婚活イベントの開催

日 時 : 5月19日(土) 14:00~17:30

場 所 : 高田馬場グランドボウル

参 加 : 28名(帰国隊員、当会会員等の未婚者)、内島職員、藤澤職員

会 費 : 4,500円(会員 3,500円)

## 8) 他団体との連携

協力隊事業と育てる会活動の理解促進を目的に、他団体の実施する各種イベント名地に参加し各種制度の説明や帰国隊員が生産する雑貨等の販売を行った。

※重点事業【2. 各種団体との連携】参照

## 【助成事業】

### 1) 小さなハートプロジェクト

協力隊員が本来の業務以外に企画するプロジェクトに対して支援金を募り、活動を支援した。プロジェクト支援によって、途上国の人々の生活向上に寄与するだけでなく、協力隊を通して支援者と途上国の人々との繋がりを強め、国際協力に対する気運を高めた。

支援金額 : 1件につき上限 300,000円

支援件数 : 5件

支援総額 : 1,143,750円

募集期間 : 通年

審 査 : 審査員により随時実施

	氏名 (出身県)	隊次 職種 派遣国	プロジェクト名	支援額 (円)	支援者
1	友永達郎 (兵庫)	2016-4 コミュニティ開発 ケニア	養鶏事業で HIV 陽性・孤児 の子どもたちに教育のチャ ンスを！！	254,713	ひょうご応援団 電力総連 平良真昌氏
2	上野真理恵 (福島)	2017-1 学校保健 ガーナ	若者・障がい者に就労チャ ンスを！子どもたちに就学 チャンスを！	254,037	足利市 ソロプチミスト 藤田紹一氏

	氏名 (出身県)	隊次 職種 派遣国	プロジェクト名	支援額 (円)	支援者
3	中村美幸 (北海道)	2017-1 看護師 セネガル	途上国の子どもたちのために、バンベン県初の小学校図書館を作ろう！	270,000	駒ヶ根育てる会 田辺康氏
4	熊田雅史 (愛知)	2017-1 小学校教育 セネガル	衛生指導を目的とした手洗い設備の設置及び手洗い指導の実施	95,000	愛知県支援する会 駒ヶ根育てる会
5	荒井孝雄 (滋賀)	2017-1 コミュニティ開発 ドミニカ共和国	コミュニティ山道舗装プロジェクト～安全な通学路とより良い住環境のために～	270,000	内山拓紀氏ほか 46名

## 2) 帰国隊員／青年支援プロジェクト

公益財団法人三菱 UFJ 国際財団の支援を基に、帰国隊員の国際協力活動及び調査研究活動を支援した。

支援金額：1件につき上限 500,000 円

支援総額：2,700,000 円

募集期間：7月1日（日）～8月31日（金）

審査選考：選考委員会にて 10月25日（木）実施

応募：30名（協力活動 14名・調査研究 16名）

結果：7名（協力活動 4名・調査研究 3名）への支援決定

### <協力隊活動>

	受給者名 派遣国／職種／隊次	プロジェクト名称	活動地域
1	伊藤恵子 タンザニア／青少年活動／2013-1	タンザニアの農村部の中学校に通う生徒への継続的な性教育の普及活動	タンザニア
2	小谷博光 パラグアイ／野菜栽培／2007-1	パラグアイ共和国カアグアス県での有機農業技術の普及を通じた収入源創出プロジェクト	パラグアイ
3	加朱将也 エチオピア／体育／2011-1	ロカルコットンを使った再利用可能な生理用ナプキンの普及	エチオピア
4	國谷昇平 タイ／作業療法士／2015-1	タイ国ポータラム郡における寝たきりゼロ事業	タイ

<調査研究活動>

	受給者名 派遣国／職種／隊次	プロジェクト名称	活動地域
1	朝倉祐子 エチオピア／幼児教育／2014-2	開発途上国における乳幼児期の教育とケア	エチオピア
2	小林灯里 ザンビア／公衆衛生／2013-2	ネパールでの小児患者栄養状態アセスメントのための既存の携帯アプリのレビューと評価	ネパール
3	辰巳昌嵩 タンザニア／理学療法士／2013-3	タンザニアにおける腰痛のリスク因子と精神的健康との関係	タンザニア

3) 馬場医療・福祉奨学金

医療・福祉分野への就学・就職を希望する帰国隊員を対象に、返済義務を付した奨学金を給付し支援した。

支援金額：1件につき上限 500,000 円

支援総額：280,000 円

募集期間：7月1日（日）～8月31日（金）

審査選考：帰国隊員／青年支援プロジェクトの審査選考と併せて実施

応募：1名

結果：1名への支援決定

	受給者名 派遣国／職種／隊次	就学先	修了予定
1	杉野好美 インドネシア／保健師／2011-2	京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究科 東南アジア地域研究専攻	2023年3月

4) 全国の育てる会活動助成

全国育てる会が実施する協力隊事業の理解促進等の諸活動に対し、助成金を給付した。

支援金額：80,000 円（上限）

申請：12月7日（金）～2019年1月18日（金）

給付：2019年4月11日付

対象事業：以下の4事業

①会員拡大

（育てる会・支援する会・応援団の仲間を増やす活動）

②協力隊に参加し易く、その経験を地域に活かす社会環境の整備

（現職参加、帰国隊員の進路支援、帰国後の社会還元等の促進活動）

③広報・理解促進

（協力隊事業の理解を広める活動）

④全国組織連携

(近隣・ブロック・全国レベルの組織間交流活動)

給付額 : 全国 44 組織 / 総額 3,512,900 円

## 【広報事業】

---

### 1) 「協力隊を育てる会ニュース」の発行

全国育てる会と会員、派遣中の協力隊員、帰国隊員、法人団体等の支援者とを結ぶ“育てる会活動の情報ツール”として、育てる会活動や帰国隊員の取り組み、協力隊事業の動向等を紹介した。

発行数 : 約 7,000 部 / 毎月

仕様 : モノクロ / タブロイド版 / 4 ページ

構成 : 1 面 ~ 最新トピックス

2 面 ~ 全国育てる会や地域の支援者の活動紹介

3 面 ~ 派遣中隊員、帰国隊員向けの支援情報

4 面 ~ 各種インフォメーション

広告収入 : 2,833,920 円

備考 : 「クロスロード」誌の発行に合わせて 2019 年 1 月より毎月 1 日発行

### 2) ニュースレターの配信

既存の紙媒体では伝えきれない、SNS で拡散されている協力隊や育てる会、JICA 関連のホットな情報を取りまとめ、「会員特典」として毎月発信した。

対象 : 社団会員 (役員 / 各県事務局含む) 約 350 件

配信 : 毎月 20 日頃 / 1 回

内容 : 派遣中隊員や帰国隊員、育てる会活動や JICA 全体、OB 会等に関する各種情報

### 3) Web や SNS による情報提供

一般から隊員家族、派遣中隊員、帰国隊員まで、協力隊事業ならびに育てる会活動を広く周知するため、Web や SNS を活用した広報を更に充実させるとともに以下の情報等を発信した。

(1) 全国育てる会活動の最新トピックスや各種イベント情報 (告知および報告等) の提供

(2) 帰国隊員が関わる事業や商品情報の提供

(3) 各種支援情報の提供

### 4) メーリングリストによる情報提供

帰国間もない隊員を中心に、育てる会活動を広く周知しネットワークを構築するため、以下の情報等を発信した。

(1) カレンダー写真の募集

(2) 各種支援事業の告知

(3) 各県組織・会員団体等からの情報提供

(4) 就職情報

## 5) 隊員活動の広報支援

当会ははじめ関係団体の広報媒体と帰国隊員を繋ぎ、協力隊事業の理解促進を目的とした情報を発信した。

### (1) FEC NEWSへの記事連載

発行元 : 民間外交推進協会

発行 : 月1回

内容 : 帰国隊員による現地の活動や生活、参加を通じて得られたこと等についての寄稿

### (2) 協力隊 T シャツの制作・販売

制作 : 一般社団法人協力隊を育てる会

デザイン : 伊藤洋美さん (ボツワナ/デザイン/2014-1)

概要 : 協力隊派遣国の国鳥が世界に羽ばたくイメージ

価格 : 2,160 円

## 【受託事業】

---

### 1) JICA 受託事業

当会の独自性と長年培ってきたノウハウを活かし、効率的かつ効果的に業務遂行するとともに、契約再受託に向けた諸準備を進めた。

※重点事業【6. 財政基盤の安定化】参照

### 2) 新規受託事業

各種研修事業のノウハウ、帰国隊員ならびに全国育てる会のネットワーク等、育てる会の専門性を活かし、帰国隊員支援や協力隊事業の理解促進、次世代の協力隊育成に繋がる業務の入札を適宜チャレンジし新規受託を目指した。

※重点事業【6. 財政基盤の安定化】参照

## 【総務活動】

---

### 1) 各種会議の運営

一般社団法人としての的確な組織運営ならびに事業活動の推進を目的として、役員会等の各種会議を開催した。

#### (1) 第 43 回通常総会

開催日 : 5 月 30 日 (水) 14 : 00~20 : 00

場所 : 日本青年館

概要 : 通常総会・講演会・懇親会の 3 部形式

第 1 部 通常総会 14 : 00~15 : 45

第 2 部 講演会 16 : 00~18 : 00

①「持続する情熱－協力隊 OBOG が語る還元のカタチ－」

講師 : 白石光代 (青い空の会代表、グアテマラ/花卉栽培/1999-1)

佐藤千歳（岡崎市保健所職員、モンザンビーク／臨床検査技師／2005-1）

②「日本外交における青年海外協力隊の意義」

講師：五百旗頭真（公立大学法人兵庫県立大学理事長）

第3部 交流会 18：30～20：00

参加：100名

(2) 臨時総会

開催日：2019年2月2日（土）9：30～

場所：日本青年館

議案：定款変更（事務局移転に関して）

(3) 理事会

年4回の開催

第1回	第2回	第3回	第4回
5月9日（水） 15：00～17：00 於 日本青年館	5月30日（水） 15：30～16：00 於 日本青年館	12月14日（水） 15：30～17：00 於 日本青年館	2019年3月14日（木） 15：00～17：00 於 日本青年館

(4) 常任理事会

原則として四半期に1回

6月期	9月期	12月期	3月期
6月18日（月） 17：00～19：00 於 日本青年館	9月13日（木） 17：00～19：00 於 日本青年館	12月5日（水） 17：00～19：00 於 日本青年館	2019年3月5日（火） 17：00～19：00 於 日本青年館

(5) 顧問・参与会議

原則として年2回程度開催

第1回	第2回
12月14日（金） 17：30～19：00 於 日本青年館	2019年3月14日（木） 17：30～19：00 於 日本青年館

2) 各種交流会等の開催及び参加

(1) 「協力隊の日を祝う会」

主催：公益社団法人青年海外協力協会

日時：4月20日（金）14：00～

場所：旧 JICA 広尾センター「友よやすらかに」慰霊碑前

参加：宮崎顧問、足立顧問、奥永常任理事、大石事務局長ほか（総勢 50 名）

(2) 第14回 JICA 理事長表彰受賞を祝う会

主催：一般社団法人協力隊を育てる会

日時：10月1日（月）18：30～20：00

場所：JICA 市ヶ谷

参 加 : 水野副会長はじめとする受賞者、青年海外協力隊事務局ほか (総勢 43 名)

(3) 「新春の集い」

主 催 : 一般社団法人協力隊を育てる会  
日 時 : 2019 年 2 月 1 日 (金) 18 : 30 ~  
場 所 : 日本青年館  
参 加 : 109 名

3) 慶弔

(1) 平成 30 年春の褒章・叙勲

① 旭日大綬章

・ 近衛忠輝氏

(元一般社団法人協力隊を育てる会理事 / 日本赤十字社社長)

② 旭日双光章

・ 町田錦一郎氏

(群馬県青年海外協力隊を育てる会会長 / マチダコポレーション株式会社相談役)

・ 弓場秋信氏

(鹿児島県青年海外協力隊を支援する会事務局長 / 弓場貿易株式会社代表取締役)

(2) 平成 30 年秋の褒章・叙勲

① 瑞宝重光章

・ 大島賢三氏

(一般社団法人協力隊を育てる会顧問 / 一般社団法人アフリカ協会理事長)

② 旭日中綬章

・ 河本英典氏

(びわ湖 JICA ボランティア応援団会長 / 綾羽株式会社代表)

③ 藍綬褒章

・ 仮屋茂氏

(茨城県青年海外協力隊を育てる会理事 / 茨城県スポーツ少年団副本部長)

(3) 平成 30 年度外務大臣表彰

① 弓場秋信氏

(鹿児島県青年海外協力隊を支援する会事務局長 / 弓場貿易株式会社代表取締役)

② レシャード・カレット氏

(ふじのくに静岡・協力隊を育てる会監事 / NPO 法人カレーズの会理事長)

(4) 第 14 回 JICA 理事長表彰

① 水野秀一氏

(一般社団法人協力隊を育てる会副会長 / 公益社団法人日本青年会議所事務局アドバイザー)

(5) 平成 30 年知事表彰

① 長野県知事表彰 (国際化推進功労者として)

・高坂保氏

(駒ヶ根協力隊を育てる会名誉会長／元青年海外協力隊駒ヶ根訓練所カンウンセラー)

②徳島県知事表彰 (公共の福祉増進への尽力)

・井上俊吾氏

(徳島県協力隊を育てる会会長／あさか電器株式会社代表取締役会長)

(6) 2018年度西日本国際財団アジア貢献賞 (アジア貢献賞創設 20周年記念特別賞)

・弓場秋信氏 (鹿児島県青年海外協力隊を支援する会事務局長／弓場貿易株式会社代表取締役)

(7) 訃報

①石田勉氏 2019年1月25日 (金)

(JICA ボランティアを支援するいわての会副会長／株式会社石田商会取締役)

②小池将文氏 2019年2月25日 (月)

(岡山県協力隊を育てる会副会長／川崎医療福祉大学名誉教授)

③宮澤啓祐氏 2019年3月23日 (土)

(JICA ボランティアを支援するいわての会前副会長／花巻商工会議所名誉会頭)

④鈴木修氏 2019年3月31日 (日)

(JICA ボランティアを支援するいわての会理事／岩手経済同友会相談役)

#### 4) 役員の視察

##### (1) フィジー視察

日 時 : 12月12日 (火) ~16日 (日)

参 加 : 足立顧問、澤田理事

概 要 : 大洋州ボランティア調整員会議への出席、隊員活動の視察

備 考 : コンプライアンスに係る外部有識者としての調査

##### (2) マラウイ視察

日 時 : 2019年2月17日 (日) ~23日 (土)

参 加 : 山本会長

概 要 : 隊員活動の視察

##### (3) 二本松訓練所視察

日 時 : 2019年2月22日 (金) ~23日 (土)

参 加 : 岩田理事

概 要 : 協力隊訓練等の視察及び取材、特別講演会の開催

備 考 : 2019年3月18日 (月) 「報道ライブ インサイド OUT」にて特集 OA

#### 5) 事務局移転

移転日 : 2019年2月9日 (土) ~11日 (月祝)

移転先 : 東京都千代田区神田小川町 3-28-7 昇龍館ビル 2階

## 6) 派遣隊員へのガイダンス

訓練中の協力隊員をはじめとする JICA 海外協力隊に対し、派遣中を主とした育てる会活動のガイダンスを行うとともに個人情報の提供を依頼した。

時 期 : 4月、7月、10月、2019年1月

場 所 : 駒ヶ根、二本松の両訓練所

概 要 : 育てる会活動の説明及び個人情報の収集

隊次	訓練所	実施日	担当者
2018年度1次隊	駒ヶ根	4月16日(月)	熊野職員
	二本松	4月25日(水)	藤澤職員
2018年度2次隊	駒ヶ根	7月16日(月祝)	大石事務局長
	二本松	7月23日(月)	大石事務局長
2018年度3次隊	駒ヶ根	10月22日(月)	熊野職員
	二本松	10月22日(月)	藤澤職員
2018年度4次隊	駒ヶ根	2019年1月28日(月)	熊野職員
	二本松	2019年1月25日(金)	藤澤職員

## 7) 帰国隊員へのオリエンテーション

帰国隊員に対し、社会還元を主とした育てる会活動のオリエンテーションを行うとともに個人情報の提供を依頼した。

時 期 : 6月、9月、2019年1月、3月

場 所 : JICA 市ヶ谷、麴町本部

概 要 : 育てる会活動の説明ならびにメールアドレス等の収集

隊次	実施日	担当者
2016年度 1次隊	帰国ピーク時：6月27日(木)～7月11日(水) その他：随時	奥永常任理事、大石事務局長、 内島・熊野・東郷・藤澤職員
2016年度 2次隊	帰国ピーク時：9月25日(金)～10月11日(木) その他：随時	大石事務局長、伊藤次長、内 島・熊野・東郷・藤澤職員
2016年度 3次隊	帰国ピーク時：2019年1月7日(月)～17日(木) その他：随時	奥永常任理事、大石事務局長、 内島・熊野・東郷・藤澤職員
2016年度 4次隊	帰国ピーク時：2019年3月22日(金)～29日(金) その他：随時	内島・東郷職員

## 8) 人事

### (1) 社団事務局

#### ①業務委託

伊藤亜紀氏(7月1日付 進路相談カウンセラーとして)

石澤志津氏(同上)

岡部恵子氏（同上）

金山光一氏（同上）

②新規採用

東郷理央（6月27日付 事務局/JICA本部勤務として）

③退職

佐々木惟（7月22日付 事務局/JICA本部勤務として）

(2) 各県組織

①JICA ボランティアを支援するいわての会会長

前) 藤井克己氏（公益財団法人いわて産業振興センター顧問兼連携推進センター長）

新) 佐藤幸夫氏（株式会社シリウス代表取締役）

②千葉県海外協力隊を育てる会会長

前) 伊東幹雄氏（八千代市議会議員）

新) 花澤和一氏（元千葉県経営者協会専務理事）

③青年海外協力隊とちぎ応援団会長

前) 観堂義憲氏（株式会社下野新聞社代表取締役会長）

新) 岸本卓也氏（株式会社下野新聞社代表取締役社長）

④富山県青年海外協力隊を育てる会会長

前) 白山肇氏（大東文化大学非常勤講師）

新) 才田春夫氏（富山国際大学教授）

以上

【2018 年度事業報告附属明細書について】

2018 年度事業報告における、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第 34 条第 3 項」に規定する附属明細書「事業内容を補足する重要な事項」については、前述の事業報告内に含まれているため別途作成はいたしません。



## 2019 年度事業計画

(2019 年 4 月 1 日から 2020 年 3 月 31 日まで)

連帯を求める世界の中にあつて、日本の明日を支える時代精神は、どういう気風のものたるべきであろうか。多くの日本人の視野外に在って、それ自体はケシ粒のように小さい存在であり、それぞれがまだこれから成長して行かなくてはならない現状ではあるが、海外ボランティア活動として展開されている青年海外協力隊員の活動は冒頭の根源的な問いに一つの無言の答えを示している。

(抜粋)

43 年前の昭和 51 年（1976 年）、当会の設立発起人であり初代会長を務めた茅誠司は、このように設立趣意書をしたためました。

昭和から平成の時代となり、この 30 年の間で青年海外協力隊をはじめとする JICA 海外協力隊事業（以下、協力隊事業）は大きな飛躍を遂げ、当会も「育てる会活動」を国民運動として展開すべく、全国的な基盤を構築するに至りました。

平成の時代精神は、従来の価値観や常識にとらわれず多様性を認める社会となる一方で、社会だけでなく人間関係においてもフラットネス、ボーダーレスな方向へと進み、正解のない、様々な常識が混在するに至りました。新しい令和の時代においては、社会全体がシームレスなものになり、社会全体の考えや動きも更に変化していくことでしょう。そして、こうした時代の変わり目にあつて、我々「協力隊の応援団」も機能や役割の変容を遂げていかななくてはなりません。

令和における「協力隊の応援団」の時代精神とは、冒頭に掲げた世界や日本の課題に自ら進んで取り組む若者を応援する活動は普遍的なものであり、協力隊事業が次世代を担う若者にとって「人生の価値を高める活動」であると考え、全国の仲間と手を携えながら JICA 青年海外協力隊事務局とパートナーシップを組み、国民的基盤のうえで活動を展開して参ります。

### 【スローガン】

「協力隊は日本の宝、育てて活かす平和の種まき」

### 【基本方針】

1. 協力隊事業への支援を通じて、世界から信頼される日本と平和で豊かな社会を実現する人材を育成する。
2. 協力隊に参加しやすい社会環境を目指して、全国の育てる会組織の皆様と共に活動する。
3. 協力隊の活動を通じて得た隊員たちの経験が日本の地域社会の活性化に活かされるよう、帰国隊員と自治体、経済団体、市民団体等との橋渡しとなる役割を果たす。

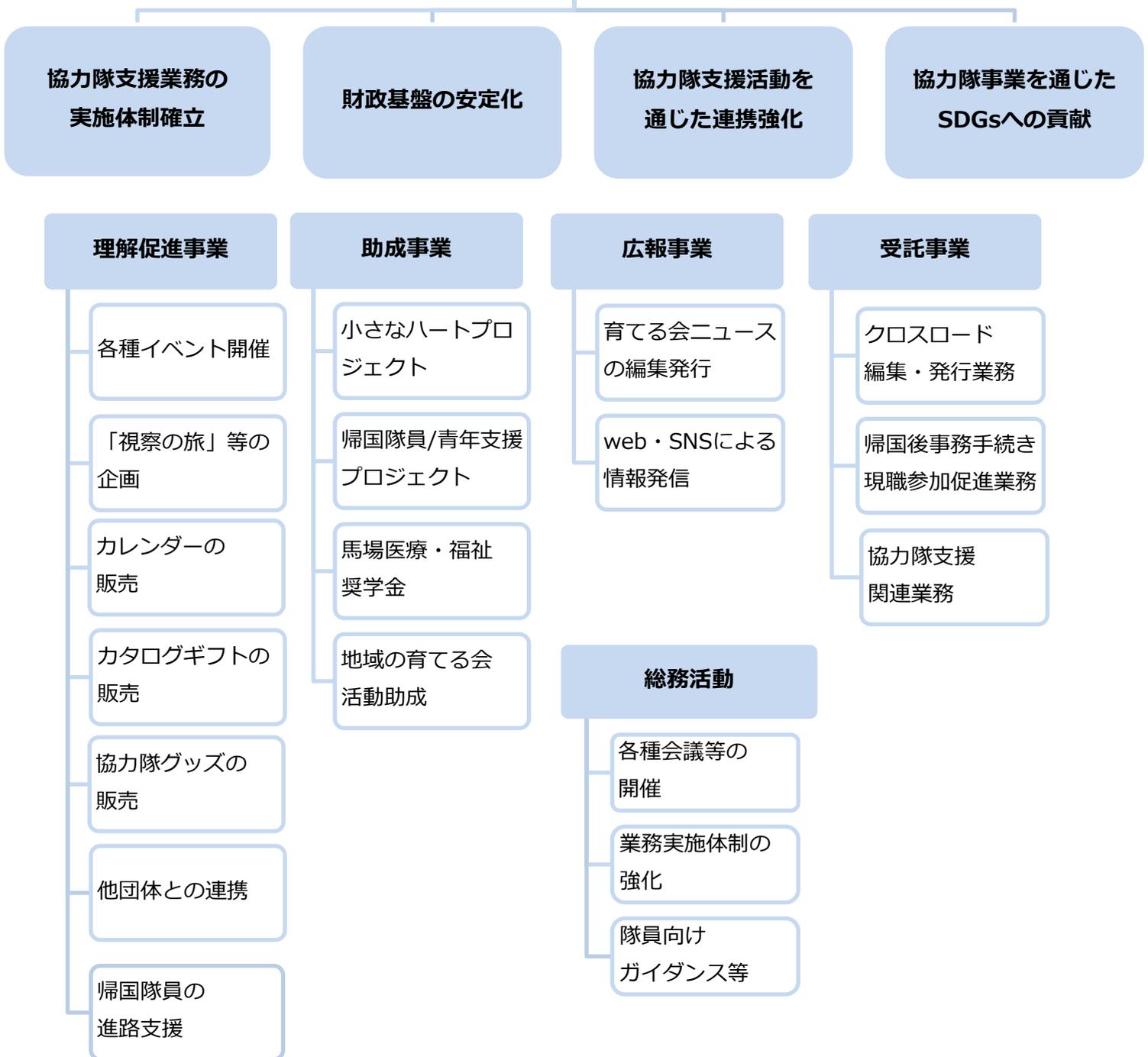
### 【重点活動】

1. 2020 年度の事業契約に向けた実施体制の確立
2. 協力隊の関連業務やグッズ販売等による財政基盤の安定化
3. 応募勧奨活動等による全国育てる会と JICA 青年海外協力隊事務局とのパートナーシップ強化
4. 協力隊事業の理解促進等による「持続可能な開発目標」（Sustainable Development Goals）への貢献

## 協力隊を育てる会の使命

青年海外協力隊をはじめとする国際ボランティア（以下「協力隊等」という。）事業に市民の立場から参加しやすい社会環境を創り、次世代を担う人材の創出及び育成を図るとともに、協力隊等が得た経験を共有することで多様な価値観を尊重する平和で豊かな社会を築き、国際社会と地域社会の発展に寄与する。

## 重点活動



# 2019 年度事業計画

## 【重点事業】

### 1. 2020 年度の事業契約に向けた実施体制の確立

---

- 1) 帰国隊員支援に関するセミナーの企画・開催

実 施 : 通年

- 2) 帰国隊員支援に関する調査・情報収集

実 施 : 通年

- 3) 業務実施に係る人材育成

実 施 : 通年

### 2. JICA 海外協力隊の関連業務やグッズ販売等による財政基盤の安定化

---

- 1) 関連業務への参画

- (1) 公示案件への入札

実 施 : 通年

- 2) グッズ販売

- (1) JICA 海外協力隊 T シャツの制作・販売

実 施 : 2019 年春

概 要 : 帰国隊員デザインによるオリジナル T シャツ

- (2) JICA 海外協力隊 バッジの制作・販売

実 施 : 2019 年中

概 要 : 協力隊ロゴマークのピンバッヂ

### 3. 全国育てる会と JICA 青年海外協力隊事務局とのパートナーシップ強化

---

- 1) JICA 海外協力隊の応募勧奨活動

実 施 : 通年

概 要 : 春・秋募集時期の広報協力

- 2) JICA 海外協力隊の理解促進活動

実 施 : 通年

概 要 : 帰国報告会、企業向けセミナーの開催

### 4. JICA 海外協力隊事業を通じた SDGs への貢献

---

- 1) カレンダーの制作・販売

概 要 : 派遣中隊員及び帰国隊員から提供される写真を使用したオリジナルカレンダー

仕 様 : A4 横／フルカラー／14 枚綴り (28P) ／オリジナル名入れ・メッセージ印字  
制作数 : 12,000 部  
制 作 : 5 月～8 月  
販 売 : 9 月中旬 (予定)

## 2) 各種イベントへの参加

実 施 : 通年

概 要 : 関係団体等の催事における JICA 海外協力隊事業の広報

## 【理解促進事業】

---

### 1) 各種イベントの開催

国際理解や人材育成、経験の社会還元等、協力隊事業を広く市民に周知する場として、帰国隊員の活動報告会をはじめとするイベントを開催する。

#### (1) 家族交流会

実 施 : 年 3 回

対 象 : 隊員家族ならびに協力隊参加希望者

#### (2) 帰国報告会

実 施 : 通年

対 象 : 隊員家族ならびに協力隊参加希望者、社会貢献団体、企業・団体関係者等

#### (3) 開発教育全国集会

実 施 : 全国育てる会の主催事業に対し広報等にて協力

対 象 : 一般、社会貢献団体、企業団体関係者等

### 2) 「視察の旅」等の企画・実施

隊員家族や関係者等を中心に、現地の活動視察を通じて協力隊事業の理解者を増やすとともに、支援の輪を広げる機会として企画・実施する。

#### (1) 視察の旅

実 施 : 5 月以降

概 要 : アフリカ・中南米等、実施可能な隊員派遣国 (20 ヶ国程度)

対 象 : 隊員家族

#### (2) スタディツアー

実 施 : 通年

概 要 : 全国育てる会主催事業の企画・広報協力

対 象 : 全国の育てる会関係者・会員・支援者、一般の参加希望者

### 3) 「持続する情熱」等、協力隊関連書籍の拡販

記念誌「持続する情熱」をはじめ協力隊に関する書籍の普及を目指し、支援者を発掘し教育機関

や図書館等への寄贈活動を展開する。

- (1) 「持続する情熱」 (ダイジェスト版)  
体 裁 : A4 判 / 180 ページ / フルカラー
- (2) 「持続する情熱」 (完全保存版)  
体 裁 : A4 判 / 416 ページ / フルカラー
- (3) 「青年海外協力隊の軌跡と展望～世界を翔る日本青年の素顔～」  
体 裁 : 新書判 / 232 ページ / モノクロ

#### 4) カタログギフト「GLOBAL SPROUT」の販売

OBOG が関わる商品の情報をまとめ、Web 等の広報媒体にて紹介するとともにカタログギフトとして販売する。

ブランド : 「GLOBAL SPROUT」 (グローバルスプラウト)

概 要 : 帰国隊員が生産する食品・雑貨・化粧品等のカタログギフト販売

備 考 : 宅配便の料金変更に伴い価格設定を変更

#### 5) 他団体との連携

協力隊事業と育てる会活動の理解促進を目的に、他団体の実施する各種イベント名地に参加し、JICA 海外協力隊事業の広報を行うとともに帰国隊員が生産する雑貨等の販売を行う。

- (1) 協力隊まつり 2017  
主 催 : 協力隊まつり実行員会  
実 施 : 4 月 21 日 (日)  
場 所 : JICA 地球ひろば (市ヶ谷)  
概 要 : 帰国隊員が生産する雑貨、「持続する情熱」等書籍の販売
- (2) 第 90 回メーデー中央大会  
主 催 : 第 88 回メーデー中央実行委員会  
実 施 : 4 月 27 日 (土)  
場 所 : 代々木公園
- (3) グローバルフェスタ 2019  
主 催 : グローバルフェスタ実行委員会  
実 施 : 9 月末  
場 所 : 未定
- (4) SEISA Asia Africa Bridge  
主 催 : 公益財団法人世界こども財団  
実 施 : 11 月  
場 所 : 星槎中学高等学校

#### 6) 帰国隊員の進路支援

就職や転職、進学、結婚等、帰国隊員の様々なニーズに対して、彼らの経験や持ち味が活かせる人生プランをアドバイスするとともに進路開拓の支援を行う。

(1) 婚活イベントの開催

実 施 : 調整中

場 所 : 調整中

備 考 : 開催要望の声が多いことから他行事との共催を含めて検討

## 【助成事業】

---

1) 小さなハートプロジェクト

協力隊員が本来の業務以外に企画するプロジェクトに対して支援金を募り、活動を支援する。プロジェクト支援によって、途上国の人々の生活向上に寄与するだけでなく、協力隊を通して支援者と途上国の人々との繋がりを強め、国際協力に対する気運を高める。

支援金額 : 1 件につき上限 300,000 円

支援件数 : 7 件程度

募集期間 : 通年

審 査 : 審査員により随時実施

2) 帰国隊員／青年支援プロジェクト

公益財団法人三菱 UFJ 国際財団の支援を基に、帰国隊員の国際協力活動及び調査研究活動を支援する。

支援金額 : 1 件につき上限 500,000 円

支援総額 : 2,700,000 円

募集期間 : 7 月 1 日 (月) ~ 8 月 31 日 (土)

審査選考 : 選考委員会にて 10 月頃実施

3) 馬場医療・福祉奨学金

医療・福祉分野への就学・就職を希望する帰国隊員を対象に、返済義務を付した奨学金を給付し支援する。

支援金額 : 1 件につき上限 500,000 円

支援総額 : 1,000,000 円

募集期間 : 7 月 1 日 (月) ~ 8 月 31 日 (土)

審査選考 : 帰国隊員／青年支援プロジェクトの審査選考と併せて実施

4) 全国育てる会活動助成

全国育てる会が実施する協力隊事業の理解促進等の諸活動に対し、助成金を給付する。

支援金額 : 調整中

給付時期 : 未定

対象事業：以下の4事業

- ①協力隊に参加し易く、その経験を地域に活かす社会環境整備活動
- ②協力隊事業の理解促進のための広報啓発活動
- ③「協力隊の応援団」を地域で増やす支援者拡充活動
- ④全国育てる会の連携活動

## 【広報事業】

---

### 1) 「協力隊を育てる会ニュース」の発行

全国育てる会と会員、派遣中の協力隊員、帰国隊員、法人団体等の支援者とを結ぶ“育てる会活動の情報ツール”として、育てる会活動や帰国隊員の取り組み、協力隊事業の動向等を紹介する。

発行数：約7,000部/毎月

仕様：モノクロ/タブロイド版/4ページ

構成：1面～最新トピックス

2面～全国育てる会や地域の支援者の活動紹介

3面～派遣中隊員、帰国隊員向けの支援情報

4面～各種インフォメーション

### 2) WebやSNSによる情報提供

一般から隊員家族、派遣中隊員、帰国隊員まで、協力隊事業ならびに育てる会活動を広く周知するため、WebやSNSを活用した広報を更に充実させるとともに以下の情報等を発信する。

- (1) 全国育てる会活動の最新トピックスや各種イベント情報（告知および報告等）の提供
- (2) 帰国隊員が関わる事業や商品情報の提供
- (3) 各種支援情報の提供

### 3) メールングリストによる情報提供

帰国間もない隊員を中心に、育てる会活動を広く周知しネットワークを構築するため、以下の情報等を発信する。

- (1) カレンダー写真の募集
- (2) 帰国報告会の講師、「視察の旅」引率者の募集
- (3) 各種支援事業の告知
- (4) 各県組織からの情報提供
- (5) 会員団体からの情報提供

### 4) 隊員活動の広報支援

関係団体等の広報媒体と帰国隊員を繋ぎ、協力隊事業の理解促進を目的としたレポート等を発信する。

- (1) FEC NEWS

発行元 : 民間外交推進協会

発行 : 月1回

内容 : 帰国隊員による現地の活動や生活、参加を通じて得られたこと等についての寄稿

## 【受託事業】

---

### 1) JICA 受託事業

当会の独自性と長年培ってきたノウハウを活かし、効率的かつ効果的に業務遂行するとともに、契約再受託に向けた諸準備を進める。

#### (1) 「クロスロード」誌編集・発行業務

委託元 : 独立行政法人国際協力機構

業務 : ボランティア向け実践ガイドの編集発行

#### (2) 「JICA ボランティア帰国情報/事務管理・現職参加促進支援」業務

委託元 : 独立行政法人国際協力機構

業務 : 各種証明書発行やデータ整備等の事務手続き、現職参加の促進・調査・相談等

公示 : 2020年1月頃

## 【総務活動】

---

### 1) 各種会議の運営

一般社団法人としての的確な組織運営ならびに事業活動の推進を目的として、役員会等の各種会議を開催する。

#### (1) 第44回通常総会

開催日 : 5月30日(木) 14:00~20:00

場所 : 日本青年館

##### 【プログラム】

第1部 通常総会 (14:00~15:30)

第2部 講演会 (16:00~18:00)

第3部 交流会 (18:30~20:00)

#### (2) 理事会

年3回の開催 (5月、12月、2020年3月)

#### (3) 常任理事会

原則として四半期ごとに開催

#### (4) タスクチーム

主要タスクに対応するため、役員によるタスクチームを組織し適宜対応する

#### (5) 顧問・参与会議

原則として年2回程度開催

### 2) 各種交流会の開催

(1) 「新春の集い」

日 時 : 2020年1月

場 所 : 都内

(2) その他、各種表彰・叙勲等のお祝い会

開 催 : 適宜

場 所 : 都内

3) 業務実施体制の強化

実 施 : 通年

概 要 : 各種研修への参加等

4) 派遣隊員へのガイダンス

時 期 : 4月、7月、10月、2020年1月

場 所 : 二本松訓練所、駒ヶ根訓練所

概 要 : 育てる会活動の説明ならびに個人情報の収集

5) 帰国隊員へのオリエンテーション

時 期 : 6月、9月、2020年1月、3月

場 所 : 都内

概 要 : 育てる会活動の説明ならびにメールアドレス等の収集

以上



## 2019 年度収支予算

(2019 年 4 月 1 日から 2020 年 3 月 31 日まで)

科 目	2018 予算 ( A )	2019 予算 ( B )	増減 (B)-(A)	備考
事業活動収入				
1 基本財産運用収入	1,000	1,000	0	定期預金
2 入会金収入	190,000	190,000	0	
3 会費収入	5,350,000	5,400,000	50,000	
4 研修会費収入	4,900,000	5,670,000	770,000	視察の旅、イベント会費
5 広告料収入	3,000,000	3,000,000	0	育てる会ニュース
6 手数料収入	5,110,000	7,180,000	2,070,000	会員発送、グッズ販売、紹介
7 カレンダー販売収入	5,500,000	5,500,000	0	
8 帰国隊員等支援受託収入	24,566,000	34,285,000	9,719,000	カウンセラー4名、パンフ作成
9 クロス編集業務等受託収入	61,100,000	49,641,000	△ 11,459,000	年12冊
10 クロス会員差込	830,000	670,000	△ 160,000	
11 その他受託収入		5,000,000	5,000,000	新規受託授業
12 助成金収入	3,000,000	3,000,000	0	三菱UFJ国際財団
13 寄付金収入	2,150,000	2,000,000	△ 150,000	小さなハート等
14 グローバルスプラウト	1,500,000	800,000	△ 700,000	
15 雑収入	247,000	110,000	△ 137,000	
経常収益合計	117,444,000	122,447,000	5,003,000	
事業活動支出				
16 給与手当	40,161,000	39,100,000	△ 1,061,000	職員9名
17 退職掛金	1,020,000	1,075,000	55,000	
18 福利厚生費	6,236,000	5,614,000	△ 622,000	社会保険等
19 旅費交通費	3,865,000	3,240,000	△ 625,000	
20 通信運搬費	7,151,000	6,560,000	△ 591,000	クロス発送
21 会議費	540,200	383,000	△ 157,200	
22 修繕費	1,267,000	1,195,000	△ 72,000	コピー、光電話、PCメンテ
23 印刷製本費	17,802,000	11,684,000	△ 6,118,000	クロス、カレンダー等
24 賃借料	6,454,000	6,104,000	△ 350,000	家賃、OA機器
25 光熱水費	620,000	600,000	△ 20,000	
26 保険料	770,000	204,000	△ 566,000	視察の旅、火災保険
27 諸謝金	1,590,000	1,578,000	△ 12,000	クロス原稿等
28 消耗品費	400,000	340,000	△ 60,000	
29 租税公課	3,997,000	4,015,000	18,000	消費税
30 減価償却費	39,000	39,000	0	
31 仕入高	529,200	500,000	△ 29,200	記念誌
32 支払負担金	3,001,800	3,470,000	468,200	派遣、社労士、税理士等
33 支払助成金	7,700,000	8,000,000	300,000	ハート、三菱、各県助成、
34 委託費	8,333,000	21,300,000	12,967,000	CS4名、クロスデザイン、校正他
35 雑費	5,967,800	7,446,000	1,478,200	パンフ、新受託、GS他
経常費用合計	117,444,000	122,447,000	5,003,000	
事業活動収支差額	0	0	0	



## 組織名称変更の検討について

協力隊事業の制度改革に伴い、総称「JICA ボランティア」が「JICA 海外協力隊」へ変更されたのを機に、全国組織としての統一感醸成を目指して組織名称変更の検討を始める。

### 1. 検討にあたって

- 1) 新しい総称名「JICA 海外協力隊」を尊重する。
- 2) 全国的に 3～5 程度の名称に集約することを目指す。
  - ① 県名 + JICA 海外協力隊を育てる会
  - ② 県名 + JICA 海外協力隊を支援する会
  - ③ 県名 + JICA 海外協力隊応援団
  - ④ 青森県、山形県、二本松市、埼玉県は新組織名の副題として従来の名称を併記  
例：青森県 JICA 海外協力隊応援団～地球色の日焼け・あおもり応援団～
  - ⑤ 法人登記組織（東京都＝一般社団、大阪府＝一般社団、山梨県＝NPO 法人）は個別に調整
- 3) 名称がある程度集約されることにより、全国組織としての統一感を持ちながら、応援団組織の名称が浸透するとともに幅広い活動に対する理解が得られるよう目指す。

### 2. 方針提案の背景

- 1) これまで 43 年かけて実践してきた組織化にあたっては、地域の独自性を第一に、思いを込めて提案された「様々な」会名称を尊重してきた。
- 2) 2016 年 2 月の神奈川県組織の設立をもって、熱い思いを込めて地域ごとに協力隊員を応援する組織が全国に誕生したことにより、設立趣意にある“国民運動”の基盤がついに完成。今後は全国ネットワークを活かし、統一感ある「応援団活動」の展開が求められている。
- 3) 全国組織に対する JICA の期待感は年々増しており、協力隊事業以外でも地方の人脈や特性を求められる組織も出始める中、社団法人（東京）には地域任せの「様々な」現状を打破する調整機関としての役割が求められている。
- 4) 2017 年の行政事業レビューにより協力隊事業の制度改革が進む中、全国組織としての具体的な行動には至らず各地域では喪失感が強い。また、先の代表者会議に各県組織より出された制度改革への対応や全国組織としてのブランディング等に対する意見への方針が示されないまま推移している現状の中、社団法人（東京）の「旗振り役」としての姿勢と方針提示が求められている。

### 3. 応援団組織の将来の姿

- 1) 社団（東京）を中心に、全国 47 都道府県 2 市の組織が連携を深め、幅広い分野で、幅広い層のリーダーにより、海外協力隊員たちを支える活動を通して、日本社会の改革と同時に途上国に蒔かれた平和の種が大きく育つ世界の実現を目指す運動が可能となる、応援団組織の確立を目指す。

以上

＜2019 年度役員および顧問・参与一覧＞

1	理事	会長	山本 保博	医療法人伯鳳会東京曳舟病院院長
2	理事	副会長	山本 信也	一般財団法人日本青年館常務理事
3	理事	副会長	水野 秀一	公益社団法人日本青年会議所事務局アドバイザー
4	理事	常任理事	松岡 和久	公益財団法人 CIESF 副理事長
5	理事	常任理事	奥永眞智子	前一般社団法人協力隊を育てる会事務局長
6	理事		明石 要一	千葉大学名誉教授、千葉敬愛短期大学学長
7	理事		岩田 公雄	ジャーナリスト、学校法人学習院フェロー
8	理事		神崎 清一	公益財団法人日本 YMCA 同盟総主事・代表理事
9	理事		澤田 澄子	公益社団法人企業メセナ協議会常務理事兼事務局長
10	理事		重 政子	NPO 法人持続可能な開発のための教育推進会議代表理事
11	理事		杉下 恒夫	一般財団法人国際開発機構理事長
12	理事		土井 章	一般社団法人日本防災プラットフォーム常務理事兼事務局長
13	理事		鳥澤 文彦	一般財団法人日本青年館業務部課長補佐
14	理事		山根木晴久	日本労働組合総連合会総合組織局総合局長
15	監事		福瀧 健一	千葉県海外協力隊を育てる会理事
16	監事		中村 義人	公認会計士

1	顧問		足立 房夫	公益財団法人国際障害者年記念ナイスハート基金顧問
2	顧問		大島 賢三	一般社団法人アフリカ協会理事長
3	顧問		黒河内 康	元タンザニア、ナイジェリア、スイス大使
4	参与		伊藤 隆文	元独立行政法人国際協力機構青年海外協力隊事務局長
5	参与		井上 俊吾	徳島県協力隊を育てる会会長
6	参与		大久保純夫	元一般社団法人協力隊を育てる会事務局長
7	参与		大貫 康雄	公益社団法人自由報道協会代表理事
8	参与		小川 一成	茨城県青年海外協力隊を育てる会会長、茨城県議会議員
9	参与		小原 嘉文	佐賀県協力隊を育てる会会長
10	参与		坂本 瑞夫	愛知県青年海外協力隊を支援する会会長
11	参与		高橋 成雄	NPO 法人地球緑化センター顧問
12	参与		谷川与志雄	元独立行政法人国際協力機構青年海外協力隊事務局次長
13	参与		野口 光一	全国農業協同組合中央会総務企画部
14	参与		吹浦 忠正	NPO 法人ユーラシア 21 研究所理事長
15	参与		森高 康行	愛媛県青年海外協力隊を育てる会理事、愛媛県議会議員
16	参与		横尾賢一郎	公益財団法人ラグビーワールドカップ 2019 組織委員会 上席執行役

**第 1 号議案：2018 年度決算承認の件**  
**公益目的支出計画実施報告書**  
**監事監査報告書**

決 算 報 告 書

(第 6 期)

自 2018 年 4 月 1 日  
至 2019 年 3 月 31 日

正味財産増減計算書

平成30年 4月 1日から平成31年 3月31日（決算）まで

法人名：一般社団法人協力隊を育てる会  
事業名：事業全体

（単位：円）

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
經常増減の部			
經常収益			
基本財産運用益	1,422	1,487	△65
基本財産受取利息	1,422	1,487	△65
受取入金会金	204,200	102,800	101,400
受取入金会金	204,200	102,800	101,400
受取会費	10,205,376	10,622,383	△417,007
正会員受取会費	5,537,000	5,147,000	390,000
研修会受取会費	4,668,376	5,475,383	△807,007
事業収益	89,361,261	112,210,756	△22,849,495
広告料収入	2,833,920	3,348,000	△514,080
手数料収入	4,191,669	7,331,249	△3,139,580
カレンダー等販売収入	5,043,300	5,149,737	△106,437
帰国隊員等支援受託収入	30,357,997	21,463,988	8,894,009
クロス編集業務受託収入	44,561,482	61,155,843	△16,594,361
クロス差込収益	730,047	831,633	△101,586
GLOBAL SPROUT	790,916	1,273,606	△482,690
その他受託収入	851,930	11,656,700	△10,804,770
受取補助金等	3,000,000	3,000,000	0
受取民間助成金	3,000,000	3,000,000	
受取寄付金	2,044,360	2,013,216	31,144
受取寄付金	2,044,360	2,013,216	31,144
雑収益	8,946,260	361,060	8,585,200
受取利息	83	88	△5
雑収益	8,946,177	360,972	8,585,205
經常収益計	113,762,879	128,311,702	△14,548,823
經常費用			
事業費	101,454,090	111,962,590	△10,508,500
給料手当当金	35,170,291	35,893,593	△723,302
退職共済掛金	861,000	828,000	33,000
福利厚生費	5,329,087	5,463,874	△134,787
旅費交通費	3,202,553	7,906,845	△4,704,292
通信搬費	5,956,529	7,479,334	△1,522,805
会議費	301,412	938,436	△637,024
消耗品費	33,290		33,290
修繕費	904,490	917,880	△13,390
印刷製本費	11,798,702	18,776,471	△6,977,769
仕入高料	317,628	1,438,452	△1,120,824
光熱水料	376,527	320,515	56,012
賃借料	2,527,572	2,599,901	△72,329
保険料	149,680	435,147	△285,467
諸謝金	3,273,567	2,564,802	708,765
租税公課	3,068,400	4,428,200	△1,359,800
支払負担金		292,107	△292,107
支払助成金	7,896,650	6,836,437	1,060,213
委託費	15,915,202	8,518,070	7,397,132
雑費	4,371,510	6,324,526	△1,953,016
管理費	18,296,869	16,383,398	1,913,471
給料手当当金	4,422,519	4,861,612	△439,093
退職共済掛金	214,000	192,000	22,000
福利厚生費	670,112	740,055	△69,943
旅費交通費	192,630	68,040	124,590
旅費	241,514	188,893	52,621

正味財産増減計算書

平成30年 4月 1日から平成31年 3月31日（決算）まで

法人名：一般社団法人協力隊を育てる会  
事業名：事業全体

（単位： 円）

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
通 信 運 搬 費	744,403	705,739	38,664
減 価 償 却 費	29,798	23,990	5,808
消 耗 品 費	707,708	475,683	232,025
修 繕 費	974,083	510,937	463,146
印 刷 製 本 費	198,234	234,152	△35,918
光 熱 水 料 費	376,527	320,515	56,012
賃 借 料	3,457,126	3,758,116	△300,990
保 険 料	53,400	17,020	36,380
諸 謝 金	10,000	10,000	0
租 税 公 課	75,850	11,500	64,350
支 払 負 担 金	3,121,812	3,485,089	△363,277
雑 費	2,807,153	780,057	2,027,096
経 常 費 用 計	119,750,959	128,345,988	△8,595,029
評価損益等調整前当期経常増減額	△5,988,080	△34,286	△5,953,794
評 価 損 益 等 計	0	0	0
当 期 経 常 増 減 額	△5,988,080	△34,286	△5,953,794
経 常 外 増 減 の 部			
経 常 外 収 益			
経 常 外 収 益 計	0	0	0
経 常 外 費 用			
固 定 資 産 売 却 損	95,962	0	95,962
固 定 資 産 除 却 損	95,962	0	95,962
経 常 外 費 用 計	95,962	0	95,962
当 期 経 常 外 増 減 額	△95,962	0	△95,962
税 引 前 当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	△6,084,042	△34,286	△6,049,756
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	64,100	70,000	△5,900
当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	△6,148,142	△104,286	△6,043,856
一 般 正 味 財 産 期 首 残 高	51,043,495	51,147,781	△104,286
一 般 正 味 財 産 期 末 残 高	44,895,353	51,043,495	△6,148,142
II 指 定 正 味 財 産 増 減 の 部			
当 期 指 定 正 味 財 産 増 減 額	0	0	0
指 定 正 味 財 産 期 首 残 高	0	0	0
指 定 正 味 財 産 期 末 残 高	0	0	0
III 正 味 財 産 期 末 残 高	44,895,353	51,043,495	△6,148,142

## 貸 借 対 照 表

平成 31 年 3 月 31 日現在 (決算)

法人名：一般社団法人協力隊を育てる会

事業名：事業全体

(単位： 円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資 産 の 部			
流 動 資 産			
現金預金	3,736,735	3,437,663	299,072
未収金	130,000	80,000	50,000
未貯蔵品	17,217,035	28,140,741	△10,923,706
商立替金	52,180	77,163	△24,983
預け金	1,372,828	1,557,144	△184,316
	69,178		69,178
	2,000		2,000
流動資産合計	22,579,956	33,292,711	△10,712,755
固 定 資 産			
基本財産			
定期預金	20,000,000	20,000,000	
基本財産合計	20,000,000	20,000,000	0
特定資産			
奨学貸付引当資産	5,952,948	5,211,948	741,000
特定資産合計	5,952,948	5,211,948	741,000
その他の固定資産			
建物附属設備	2,368,461	95,962	2,272,499
敷金		806,000	△806,000
保証金	1,770,558		1,770,558
奨学貸付金	2,047,052	2,788,052	△741,000
その他の固定資産合計	6,186,071	3,690,014	2,496,057
固定資産合計	32,139,019	28,901,962	3,237,057
資産合計	54,718,975	62,194,673	△7,475,698
II 負 債 の 部			
流 動 負 債			
未払金	7,024,028	6,556,524	467,504
前受金	889,200	1,189,400	△300,200
預り金	994,094	904,754	89,340
未払消費税等	852,200	2,430,500	△1,578,300
未払法人税等	64,100	70,000	△5,900
流動負債合計	9,823,622	11,151,178	△1,327,556
負債合計	9,823,622	11,151,178	△1,327,556
III 正 味 財 産 の 部			
一 般 正 味 財 産	44,895,353	51,043,495	△6,148,142
正味財産合計	44,895,353	51,043,495	△6,148,142
負債及び正味財産合計	54,718,975	62,194,673	△7,475,698

## 財務諸表に対する注記

法人名：一般社団法人協力隊を育てる会  
事業名：事業全体

### 1. 重要な会計方針

(1) 会計方針

「公益法人会計基準」（平成20年12月1日 内閣府公益認定等委員会）を採用している。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法による原価法によっている。

(3) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 定額法によっている。

(4) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

### 2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
定期預金	20,000,000	0	0	20,000,000
奨学貸付引当資産	5,211,948	741,000	0	5,952,948
合計	25,211,948	741,000	0	25,952,948

### 3. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物附属設備	2,398,259	29,798	2,368,461
合計	2,398,259	29,798	2,368,461

### 4. その他

- (1) 表示方法の変更  
なし

## 附属明細書

法人名：一般社団法人協力隊を育てる会  
事業名：事業全体

### 1. 基本財産及び特定資産の明細

(単位：円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	定期預金	20,000,000	0	0	20,000,000
特定資産	奨学貸付引当資産	5,211,948	741,000	0	5,952,948

## 公益目的支出計画実施報告書

【2018年度（2018/4/1から2019/3/31まで）の概要】

1. 公益目的財産額	81,720,787円
2. 当該事業年度の公益目的収支差額（（1）＋（2）－（3））	69,965,475円
（1）前事業年度末日の公益目的収支差額	55,788,037円
（2）当該事業年度の公益目的支出の額	19,213,287円
（3）当該事業年度の実施事業収入の額	5,035,849円
3. 当該事業年度末日の公益目的財産残額	11,755,312円
4. 2の欄に記載した額が計画に記載した見込み額と異なる場合、その概要及び理由	

【公益目的支出計画の状況】

公益目的支出計画の	(1) 計画上の完了見込み	2023年3月31日
完了予定事業年度の末日	(2) (1) より早まる見込みの場合	

	前事業年度		当該事業年度		翌事業年度
	計画	実績	計画	実績	計画
公益目的財産額	81,720,787円	81,720,787円	81,720,787円	81,720,787円	81,720,787円
公益目的収支差額	41,357,770円	55,788,037円	49,629,324円	69,965,475円	57,900,878円
公益目的支出の額	16,881,554円	16,056,553円	16,881,554円	19,213,287円	16,881,554円
実施事業収入の額	8,610,000円	4,963,488円	8,610,000円	5,035,849円	8,610,000円
公益目的財産残額	40,363,017円	25,932,750円	32,091,463円	11,755,312円	23,819,909円



2019年5月9日

## 監査報告書

一般社団法人 協力隊を育てる会  
代表理事 山本 保博 殿

監事 福 龍 建   
監事 中 村 義 人 

私たち監事は、第6期事業年度（2018年4月1日から2019年3月31日まで）の事業報告、計算書類（貸借対照表、正味財産増減計算書、個別注記表）、附属明細書、公益目的支出計画実施報告書、その他理事の職務執行の監査について、次のとおり報告いたします。

### 1 監査の方法及びその内容

監事間の協議により監査方針を定め、理事会その他の重要な会議に出席し、会計帳簿、会計書類、重要な決裁文書及び報告書を閲覧、調査し、必要に応じて当法人の理事等から職務の執行状況等について報告を受け、また随時説明を求め監査を実施いたしました。

### 2 監査の結果

- (1) 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い当法人の状況を正しく表示しているものと認めます。
- (2) 理事の職務の遂行に関し、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。
- (3) 計算書類とその附属明細書は、当法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。
- (4) 公益目的支出計画実施報告書は、法令及び定款に従い、当法人の公益目的支出計画の実施状況を正しく表示しているものと認めます。

以上



